

2 0 2 3 年度

(第 1 3 事業年度)

事 業 報 告 書

2023年 1月 1日から

2023年12月31日まで

公益財団法人三島海雲記念財団

2023 年度事業報告及び附属明細書

1. 2023 年度事業報告

2023 年度は、定款に定める公益目的事業（学術研究奨励事業）に基づき、第 61 回「学術研究奨励金」の贈呈及び第 12 回「三島海雲学術賞」の贈呈並びに「学術活動支援」に係る学術研究奨励事業を行いました。

1) 学術研究奨励金事業（助成）

本事業は自然科学と人文科学の学術研究において、将来の発展が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。

(1) 対象とする学術研究分野

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する学術研究

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジア地域を対象とし、史学・哲学・文学を中心とする人文社会科学分野における学術研究(但し、日本を中心とする研究は除く)

(2) 対象とする研究者及び研究グループ

上記学術研究分野の個人研究者及び複数の研究機関又は異なる部局の研究者が共通の課題について研究する共同研究グループ

(3) 応募資格

(A) 個人研究奨励金

(1) 日本在住の研究者（国籍は問いません）及び海外在住の日本人研究者

(2) 上記(1)には、大学院博士後期課程在籍者（及びそれに相当する大学院生）を含みますが、大学院博士前期課程（修士課程）在籍者は応募対象外となります。

(3) 年齢制限は有りませんが、若手研究者及び女性研究者の積極的応募を期待します。

(4) 事務連絡などについて日本語で対応できることを条件とします。

(B) 共同研究奨励金

(1) 共同研究の代表研究者とします。

代表研究者は、複数の研究機関又は異なる部局の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究組織を代表し、計画の推進、取りまとめ等に責任をもって遂行できるものとします。

(2) 代表研究者は国内の大学、研究機関に所属することとします。なお、共同研究者の国籍所属研究機関の所在地(海外も可)を問いません。

(3) 共同研究者は、代表研究者と異なる外部研究機関あるいは部局に所属していることを必要とします。

(4) また、原則、分担研究費が 100 万円以上の共同研究者が一名以上加わることを必要とします。

(4) 推薦者

(1) 所属機関の部局長(所属長)、または、これに準ずる方の推薦を必要とします。

大学院生の場合は指導教官も可とします。

(2) 個人研究奨励金の推薦件数は複数を可とします。

共同研究奨励金の推薦件数は一推薦者につき 1 件とします。

(5) 応募方法

当財団ホームページのWebシステム(研究助成申請システム)で応募してください。

(6) 応募期間

申請書の受付期間 2023 年 1 月 10 日～2 月 28 日

(7) 選考方法

学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。

(8) 奨励金の採択結果

(A) 「個人研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 235 件、人文科学部門 83 件、計 318 件（前年比 97%）

②採択件数 自然科学部門 59 件、人文科学部門 21 件 計 80 件（採択率 25%）

※女性及び大学院生の構成比：自然科学部門 応募 26%、採択 32%

人文科学部門 応募 78%、採択 90%

③贈呈金額 1 件当たり 100 万円、総額 8,000 万円

④助成期間 原則として、毎年 7 月から翌年 6 月の 1 年間

(B) 「共同研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 31 件、人文科学部門 5 件、計 36 件（前年比 129%）

②採択件数 自然科学部門 5 件、人文科学部門 1 件 計 6 件（採択率 17%）

③贈呈金額 1 件あたり 500 万円、総額 3,000 万円

④助成期間 原則として、毎年 7 月から翌年 6 月の 1 年間

(9) 選考結果の通知

贈呈年度 6 月中旬までに書面にて申請者宛に通知しました。

(10) 助成金の贈呈

7 月までに、申請者及び共同研究奨励金の分担研究者が指定する口座に一括交付しました。なお、贈呈式を 7 月 7 日に東京會館にて執り行いました。

2) 三島海雲学術賞事業（褒賞）

本賞は、自然科学及び人文科学の学術研究領域において、とりわけ、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援してゆくことを目的としています。

(1) 対象分野

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する研究

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究

(但し、日本を中心とする研究は除く)

(2) 候補者の資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす若手研究者。

(イ) 45 歳未満の者（2023 年 4 月 1 日現在）

(ロ) 人文科学部門は、2020 年 8 月から 2022 年 9 月に刊行された著書（単著）を有する者

(ハ) 日本在住の研究者（国籍は問いません）及び海外在住の日本人研究者（日本国籍を有するもの）

(3) 推薦者

(イ) 本財団より推薦依頼を受けた学会及び大学等研究機関(部局)の代表者

(ロ) 本財団より推薦依頼を受けた出版社の部門代表者

(ハ) 本財団の理事並びに評議員（但し、選考委員を除く）

(4) 推薦期間

2022 年 8 月 1 日～同年 9 月 30 日

(5) 選考方法

学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。

(6) 受賞者の決定

- ①応募件数 自然科学部門 17 件、人文科学部門 11 件、計 28 件(前年比 140%)
- ②採択件数 自然科学部門 2 件、人文科学部門 1 件 計 3 件
- ③贈呈金額 1 件あたり 300 万円、総額 900 万円

(7) 結果の通知

採否の結果は、2023 年 4 月下旬までに候補者及び推薦者に通知しました。

(8) 贈呈式

贈呈式並びに受賞講演会を 7 月 7 日に東京會館にて執り行いました。なお、受賞講演は Web 配信しました。

3) 学術活動支援事業(助成)

本事業は、大学、研究機関、学会などが主催する特定テーマの比較的小規模で国際的なセミナー、シンポジウム、講演会、研修会などの学術活動に対して支援するものです。

(1) 対象学術活動

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する学術活動

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジア地域を対象とし、史学、哲学、文学を中心とする人文社会科学分野における学術活動(但し、日本を中心とする研究は除く)

国内で開催される海外からの参加者を含む国際的な上記学術活動で、クローズドな活動でなく外部／新たな参加者を認めるもの

なお、学術集会のうち定例的な年会や季会、および、大きな大会の一部として開催される分科会や地方支部の学術集会は原則として対象外とします。

また、同一の学術活動への助成は年度内に1回だけとします。

(2) 応募資格者 学術活動の責任者又は主催者

なお、当財団の関係者は原則として対象外とします。

(3) 助成金額

(イ) 1 件 50 万円を上限。活動等の規模等に応じて当財団が助成額を決定。

(ロ) 用途は、学術活動の準備・運営に掛かる一切の費用

なお、応募状況、審議の結果、該当者なしの場合もあります。

(4) 応募方法

財団所定の申請書(Word 版、財団ホームページから入手可)に必要な事項を記入の上、申請書及び補足資料(趣意書、開催案内等)を事務局宛にメール送信してください。

(5) 申請受付期間

申込区分	受付期間	採否通知
I 期	11 月～ 4 月	7 月上旬
II 期	8 月～10 月	翌年 1 月上旬

(6) 選考

(イ) 採択は、学術委員から意見聴取の上、理事会で決定します。

(ロ) 選考基準として以下を考慮します。

- ① 当財団の事業目的に沿ったもの
- ② 国際的な活動で、学術性が高いもの
- ③ 小規模・予算が少ないもので、国や企業等の補助や助成を得にくいもの
- ④ 若手や海外からの参加者が多いもの

(7) 採択結果

2023 年第 I 期 応募 4 件 採択 3 件（自然科学 1 件、人文科学 2 件）支給額 140 万円
注）2023 年第 II 期分は選考期間の関係で 2024 年度の支給となっています。

(8) 選考結果の通知

書面にて学術活動の責任者又は主催者に通知しました。

2023 年度学術研究奨励金及び褒賞事業等 累計実績（1963(S38)年～2023(R5)年）

事 業		部 門	2023年度		累計		備 考	
			件 数	贈呈金額	件 数	贈呈金額		
(1)三島海雲学術賞（褒賞）		自然科学部門	2 件	600 万円	24 件	5,300 万円	2012(H24)年～	
		人文科学部門	1 件	300 万円	12 件	2,500 万円		
		計	3 件	900 万円	36 件	7,800 万円		
(2)学術研究奨励金 （助成）		(A)個人 研究	自然科学部門	59 件	5,900 万円	1,425 件	112,005 万円	1963(S38)年～
			人文科学部門	21 件	2,100 万円	765 件	52,592 万円	
			小計	80 件	8,000 万円	2,190 件	164,597 万円	
		(B)共同 研究	自然科学部門	5 件	2,500 万円	23 件	11,480 万円	2015(H27)年～
			人文科学部門	1 件	500 万円	11 件	4,183 万円	
			小計	6 件	3,000 万円	34 件	15,663 万円	
		計	86 件	11,000 万円	2,224 件	180,260 万円		
(3)学術活動支援金（助成）			3 件	140 万円	29 件	1,370 万円	2013(H25)年～「その他研究支援」 2016(H28)年～「学術活動支援」	
(4)大学院博士課程奨学金			- 件	- 万円	延27 件	2,600 万円	2004(H16)～2012(H24)年終了	
合計			92 件	12,040 万円	2,316 件	192,030 万円		

注）学術活動支援金の 2023 年度は支給ベースで記載しています。

各事業の贈呈者及び助成実績推移等は以下の資料を参照下さい。

付表 1. 第 61 回(2023 年度) 学術研究奨励金 贈呈者一覧

付図 1. 学術研究奨励金 助成推移

付表 2. 第 12 回(2023 年度) 三島海雲学術賞 受賞者一覧

付表 3. 2023 年度 学術活動支援 贈呈一覧

以 上

(付表1)

第61回(2023年度)学術研究奨励金贈呈者一覧〈自然科学部門〉

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年 齢	性 別	贈呈額 (万円)
1	5.食の安全	脳科学	食品容器から溶出するエポキシ樹脂への妊娠期曝露による産仔自閉症様早期脳発達の機序	浅沼 幹人	岡山大学 学術研究院医歯薬学域	教授	59	男性	100
2	4.栄養・嗜好・生 理機能	農学	細胞内ビタミンC定量法の確立とビタミンCによるエネルギー・栄養代謝の新制御機構	安部 知純	東北大学 未来科学技術共同研究センター	学術 研究員	26	女性	100
3	6.疾病予防	健康・ス ポーツ科学	日本人女性のためのプレジジョン栄養学研究	五十嵐 麻希	成育医療研究センター 分子内分泌研究部	共同 研究員	42	女性	100
4	4.栄養・嗜好・生 理機能	農学	着床前初期胚発生期に生じた代謝記憶の次世代への継承	大我 政敏	麻布大学 獣医学部	講師	40	男性	100
5	6.疾病予防	薬学	フルクトース誘導性のPDI SNO化に対するフラボノイドの脱修飾作用と神経変性抑制効果	小倉 次郎	山形大学大学院 医学系研究科	准教授/副 薬剤部長	40	男性	100
6	7.その他	神経科学	摂食を制御する視床下部のバソプレシンペプチドを介した神経回路基盤の解析	小坂田 拓哉	ニューヨーク大学 医学部	特任 研究員	36	男性	100
7	7.その他	その他	古代土器からのDNA情報の網羅的抽出と古食性の推定	押鐘 浩之	大阪大学大学院 薬学研究科	特任准教 授(常勤)	44	男性	100
8	1.食品素材	生体分子 科学	認知機能の維持における食品の物性の重要性和その背景となる分子メカニズムの追究	越智 亮介	国立循環器病研究センター 研究所 細胞生物学部	リサーチ フェロー	28	男性	100
9	4.栄養・嗜好・生 理機能	神経科学	嗜好性を書き換える神経メカニズムの解明	加藤 成樹	福島県立医科大学 医学部	准教授	45	男性	100
10	4.栄養・嗜好・生 理機能	健康・ス ポーツ科学	膵β細胞に対する抗糖尿病効果を有する食品エクソソーム様ナノ粒子の効果と機序の解析	金子 雪子	静岡県立大学大学院 薬学研究院	講師	46	女性	100
11	5.食の安全	環境学	絶滅危惧種スイゼンジノリと競合する微生物群の解明と高分子多糖生産を目指した研究	兼崎 友	静岡大学 グリーン科学技術研究所	特任助教	49	男性	100
12	6.疾病予防	生体分子 科学	構造活性相関に基づいた食品由来成分による抗老化戦略の構築	川口 耕一郎	京都工芸繊維大学 応用生物学系	講師	43	男性	100
13	5.食の安全	農学	現代食品の未知カビ毒リスクの究明 -パンデミック病"サツマイモ基腐病"をモデルに-	北沢 優悟	東京大学大学院 農学生命科学研究科	特任助教	33	男性	100
14	6.疾病予防	生活科学	ビタミンDの新規生理作用とその応用基盤の確立	楠堂 達也	帝塚山学院大学 人間科学部	准教授	48	男性	100
15	4.栄養・嗜好・生 理機能	薬学	亜鉛恒常性に注目した新規マイクロRNAを介した筋萎縮側索硬化症発症メカニズムの解明	栗田 尚佳	岐阜薬科大学 薬物治療学研究室	講師	41	男性	100
16	1.食品素材	農学	ゲノム基盤科学が拓く近未来機能性昆虫食	小谷 英治	京都工芸繊維大学 応用生物学系	教授	55	男性	100
17	4.栄養・嗜好・生 理機能	健康・ス ポーツ科学	慢性疲労による食欲制御異常機構の解明と疲労予防・改善への応用研究	胡 迪	京都橘大学 健康科学部	助教	39	男性	100
18	5.食の安全	農学	食品衛生を担保する新規下痢性貝毒定量法の開発	此木 敬一	東北大学大学院 農学研究科	准教授	54	男性	100
19	4.栄養・嗜好・生 理機能	生物学	オレイン酸摂取が卵子のミトコンドリア機能に及ぼす影響の解明	小松 紘司	愛知医科大学 医学部	講師	44	男性	100
20	4.栄養・嗜好・生 理機能	医学	免疫細胞における苦味成分の役割	佐伯 真弓	東京都医学総合研究所 がん免疫プロジェクト	主席 研究員	47	女性	100
21	2.製造・加工・調 理	化学	ゼオライト正浸透膜による食品脱水濃縮	酒井 求	早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構	講師	34	男性	100
22	6.疾病予防	医学	非アルコール性脂肪性肝炎における中性脂肪合成酵素AGPAT2の役割と食による制御の解明	佐久間 一基	千葉大学大学院 医学研究院	特任 准教授	42	男性	100
23	6.疾病予防	神経科学	母体免疫系活性化による仔の自閉症発現機構の解明	佐々木 哲也	筑波大学 医学医療系	助教	45	男性	100
24	6.疾病予防	歯学	うま味受容体を介した気管支喘息症状修飾機構の解明	佐々木 晴香	東北大学大学院 歯学研究科	博士課程	29	女性	100

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」との関連	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額(万円)
25	4.栄養・嗜好・生理機能	歯学	遅発性パーキンソン病モデルマウスに発症した味覚障害に対する一次感覚神経の関与	佐藤 元	明海大学 歯学部	講師	47	男性	100
26	6.疾病予防	医学	改良型乳酸バイオセンサーを用いた乳酸代謝を標的とする新たな免疫制御法の開発	佐藤 洋平	東京慈恵会医科大学 基盤研究施設	テニョトラク 助教	39	男性	100
27	4.栄養・嗜好・生理機能	生活科学	低糖質・高タンパク質食摂取が2型糖尿病の認知機能に及ぼす影響と甘味受容体の関与	島 孟留	群馬大学 共同教育学部	講師	33	男性	100
28	6.疾病予防	薬学	リン脂質を構成する脂肪酸の代謝制御による生活習慣病の新規予防法の開発	清水 かほり	大阪大谷大学 薬学部	専任講師	40	女性	100
29	3.発酵・微生物利用	農学	食物繊維による次世代プロバイオティクスの生育促進を担う腸内細菌間相互作用の解明	杉山 友太	群馬大学 食健康科学教育研究センター	助教	35	男性	100
30	4.栄養・嗜好・生理機能	神経科学	不安による自律神経系・内分泌系の反応が甘味閾値に及ぼす影響	図師 直弥	筑波大学大学院 人間総合科学学術院	博士課程	27	男性	100
31	3.発酵・微生物利用	農学	サツマイモ栽培種の多収性を支える共生微生物群の解明	田中 愛子	名古屋大学大学院 生命農学研究科	研究員	49	女性	100
32	6.疾病予防	医学	血管老化に対するピートルート（硝酸塩）摂取の効果	田和 正志	大阪医科薬科大学 薬学部	准教授	39	男性	100
33	4.栄養・嗜好・生理機能	医学	栄養素トランスポーターの発現変化から観る不規則給餌に由来する代謝性疾患の発症機序	鶴留 優也	山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部	助教	32	男性	100
34	6.疾病予防	実験動物学	胃がんにおけるガレクチン4とT抗原の相互作用を阻害する食品由来レクチンの検討	田 伊然	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程	26	女性	100
35	4.栄養・嗜好・生理機能	医学	水産資源などに含まれる尿酸降下成分の作用機序の探索と理解	豊田 優	防衛医科大学校 医学教育部	講師	38	男性	100
36	4.栄養・嗜好・生理機能	健康・スポーツ科学	α -ケトグルタル酸摂取が断続的絶食時の骨格筋タンパク質代謝に及ぼす影響	中井 直也	滋賀県立大学 人間文化学研究院	教授	55	男性	100
37	6.疾病予防	薬学	柑橘由来成分ヘスペレチンによる新規コレステロール合成抑制作用とビタミンD促進作用	中川 沙織	新潟薬科大学 薬学部	准教授	46	女性	100
38	4.栄養・嗜好・生理機能	生活科学	小豆フィナンシェの食後血糖値上昇抑制効果と有効成分の探索	仲谷 照代	武庫川女子大学 食物栄養科学部	准教授	55	女性	100
39	6.疾病予防	農学	iPS細胞由来腸上皮を用いた食品機能評価法の確立	西川 美宇	富山県立大学 工学部	助教	42	女性	100
40	6.疾病予防	医学	脂肪組織のミトコンドリアが寿命延伸に及ぼす影響〜カロリー制限模倣薬開発を目指して	野崎 優香	東京理科大学 薬学部	助教	30	女性	100
41	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	ワサビの伝統栽培と健康機能性を支える根圏微生物叢の利用に向けた研究	橋本 将典	静岡大学 学術院農学領域	准教授	39	男性	100
42	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	希少糖代謝産物・D-アロース6-リン酸の標的同一および作用機構解析	花木 祐輔	香川大学 農学部	助教	34	男性	100
43	6.疾病予防	医学	母体内環境因子曝露による先天性疾患発症機序の解明と妊婦への食生活への啓蒙	坂東 弘教	神戸大学 医学部附属病院	特命助教	41	男性	100
44	6.疾病予防	医学	エネルギー消費の促進に基づく生活習慣病予防へ向けた遺伝因子と食生活の相互作用解析	平池 勇雄	東京大学 保健・健康推進本部	助教/卓越 研究員	37	男性	100
45	4.栄養・嗜好・生理機能	生物学	食事応答性を示す生殖寿命延長メカニズムの解明	福山 征光	東京大学大学院 薬学系研究科	講師	51	男性	100
46	3.発酵・微生物利用	生体分子科学	ペプチドを介した腸内細菌叢の形成機構	藤浪 大輔	静岡県立大学 食品栄養科学部	助教	34	男性	100
47	1.食品素材	生物学	持続可能な食料生産の未来を拓く高開口率細胞足場シートを用いた培養肉構築技術の開発	堀 武志	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所	助教	38	男性	100
48	6.疾病予防	医学	母親の高脂肪食摂取と免疫活性化が子の自閉症リスク形成に与える影響の解析	前川 素子	東北大学大学院 医学系研究科	准教授	48	女性	100

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年 齢	性 別	贈呈額 (万円)
49	3.発酵・微生物 利用	農学	微細藻類由来多糖によるビフィズス菌増殖促進作用メカニズムの解明	松崎 千秋	石川県立大学 生物資源工学研究所	講師	50	女性	100
50	4.栄養・嗜好・生 理機能	医学	腸管傍細胞リン酸輸送機構が現代の食環境において果たす役割の解明	松本 あゆみ	大阪大学 医学部附属病院	医員	36	女性	100
51	6.疾病予防	薬学	クルクミン誘導体による慢性炎症の制御	丸山 貴司	東北大学大学院 医学系研究科	非常勤 講師	43	男性	100
52	3.発酵・微生物 利用	農学	アミノ酸で誘導される腸内細菌のsmall RNAの制御機構	宮腰 昌利	筑波大学 医学医療系	准教授	43	男性	100
53	6.疾病予防	脳科学	フラボノイド類の脱髄疾患治療薬としての可能性に迫る	宮本 幸	国立成育医療研究センター 薬剤治療研究部	上級 研究員	47	女性	100
54	4.栄養・嗜好・生 理機能	薬学	食欲刺激ホルモン・グレリンの産生におけるペロオキシソームでのβ酸化の役割解明	森戸 克弥	京都薬科大学 薬学部	助教	33	男性	100
55	5.食の安全	医学	食物アレルギーの発症機序の解析ー食べた物は「栄養」か?「異物」か?ー	山下 弘高	琉球大学大学院 医学研究科	准教授	44	男性	100
56	6.疾病予防	薬学	食品由来ポリフェノール・ケルセチンの胎盤形成に与える作用の解析	吉田 佳乃子	東京薬科大学大学院 薬学研究科	博士課程	25	女性	100
57	6.疾病予防	医学	骨に発現する味覚受容体に着目した骨粗しょう症予防食品開発のための分子基盤	吉村 杏奈	九州歯科大学 顎口腔機能矯正学分野	博士課程	28	女性	100
58	5.食の安全	農学	肉用牛の腸管出血性大腸菌保菌状況調査と分離菌株の遺伝学的特性の解析	若林 友騎	大阪健康安全基盤研究所 微生物部	研究員	31	男性	100
59	4.栄養・嗜好・生 理機能	実験 動物学	トレハロース類による脳卒中治療、予防効果の検討	和田 俊一	微生物化学研究会 微生物化学研究所	上級 研究員	51	男性	100
自然科学部門 応募件数 235件					贈呈件数 59件		贈呈金額 5,900万円		

【共同研究奨励金】

No.	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	代表研究者	所属機関	役職	年 齢	共同 研究 者数	贈呈額 (万円)
1	4.栄養・嗜好・生 理機能	脳科学	Sugar Addictionの脳内形成メカニズムの解明と回復制御	青木 祥	東北大学大学院 生命科学研究所	助教	37	3	500
2	3.発酵・微生物利 用	農学	食品利用に有用な産業用酵母株探索へ向けたRTG-AI細胞選抜法の確立	一刀 かおり	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	特任講師	37	2	500
3	1.食品素材	農学	魚類の繁殖の鍵となる視床下部による卵黄形成制御メカニズムの解明と「食」への応用	神田 真司	東京大学 大気海洋研究所	准教授	40	3	500
4	4.栄養・嗜好・生 理機能	健康・ス ポーツ科学	個々人の腸内細菌叢に基づく血糖値応答の個人差要因の探索	高橋 将記	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院	准教授	38	2	500
5	4.栄養・嗜好・生 理機能	医学	母乳の脂質プロファイルを決定するホスホリパーゼA ₂ と次世代への影響	山本 登志子	岡山県立大学 保健福祉学部	教授	55	4	500
自然科学部門 応募件数 31件					贈呈件数 5件		贈呈金額 2,500万円		

自然科学部門 贈呈金額合計 8,400万円

(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)

第 61 回(2023 年度) 学術研究奨励金贈呈者一覧〈人文科学部門〉

【個人研究奨励金】

No	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額 (万円)
1	史学	センナケリブの王碑文における情報操作の解明と王碑文の邦訳	青島 忠一朗	中央大学 人文科学研究所	客員 研究員	45	男性	100
2	史学	南コーカサス新石器文化期の社会動態：押圧石刃生産技術の北メソポタミアとの比較から	池山 史華	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程	28	女性	100
3	史学	アッシリア帝国の駅伝制	伊藤 早苗	名古屋大学高等研究院／ 人文学研究科	特任助教	42	女性	100
4	史学	第一次世界大戦期における内モンゴル天然ソーダ資源の市場化	烏 尼爾	滋賀県立大学大学院 人間文化科学研究科	博士課程	33	女性	100
5	文化人類学	タイ東北部クアイのゾウの飼育と知識の変容に関する人類学的研究	大石 友子	広島大学大学院 国際協力研究科	博士課程	34	女性	100
6	史学	一九世紀英琉交渉史の包括的研究—英琉間の往復書簡に焦点を当てて—	小祿 隆司	大阪大学大学院 文学研究科	博士課程	26	男性	100
7	地域研究	ミャンマーの連邦制度にシャン地方自治論が与えた影響（1946年—1948年）	菊池 泰平	大阪大学大学院 言語文化研究科	博士課程	30	男性	100
8	地域研究	仏領インドシナの医療・公衆衛生史 —1867年から1914年の制度化に着目して—	北田 瑞希	九州大学大学院 地球社会統合科学府	博士課程	27	女性	100
9	文学	イラン現代文学の黎明期における「翻案文学」：ジャマールザーデ再考	木下 実紀	大阪大学大学院 言語文化研究科	博士課程	29	女性	100
10	科学社会学・科学技術史	建設会社に着目した旧仏領インドシナにおける鉄筋コンクリート技術伝播に関する研究	國分 元太	東京理科大学 理工学部	嘱託助教	30	男性	100
11	文学	中世上座部仏教教団における文芸理論の研究	塩田 宝樹	名古屋大学大学院 人文学研究科	博士課程	32	男性	100
12	史学	近世ベトナム家譜研究—村落文書との相互検討を通して—	趙 浩衍	大阪大学大学院 文学研究科	博士課程	32	男性	100
13	史学	対日抗戦期における新疆民衆の「愛国心」の結成をめぐる考察—「愛国教育」を中心に—	程 天徳	京都大学大学院 人間・環境学研究科	博士課程	30	男性	100
14	文化人類学	バリ島「麓の村」における手話とダンスの上手さの所在：質的創造性の文化人類学的研究	西浦 まどか	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	29	女性	100
15	史学	清末内モンゴル・オルドスにおけるキリスト教の教会用地獲得の研究	ハス 高娃	神戸大学 国際文化学研究推進イン スティテュート	協力 研究員	32	女性	100
16	文化人類学	モンゴルにおける家畜の交換に関する文化人類学的研究	BAT OCHIR BALJINNYAM	総合研究大学院大学 文化科学研究科	博士課程	31	男性	100
17	史学	東部蒙古における日露帝国軍部諜報活動の比較研究：吉原四郎とバラノフを中心に	布 日額	北海道大学大学院 文学院	博士課程	43	男性	100
18	芸術学	ティムール朝期のペルシア絵画における明代院体画からの影響	本間 美紀	早稲田大学大学院 文学研究科	博士課程	32	女性	100
19	芸術学	5～6世紀中国の弥勒圖像と弥勒信仰の研究—新出の「弥勒下生」作例を中心に	馬 歌陽	早稲田大学大学院 文学研究科	博士課程	31	女性	100
20	史学	古代ユーラシアにおける草原とオアシスの染織文化に関する研究	村上 智見	北海道大学 スラブ・ユーラシア研究 センター	特任助教	41	女性	100
21	文学	中国大陸における絵本の再発見——台湾、日本の絵本観の受容に注目して	劉 娟	横浜国立大学 国際戦略推進機構	非常勤 講師	39	女性	100
人文科学部門 応募件数 83件				贈呈件数 21件	贈呈金額 2,100万円			

【共同研究奨励金】

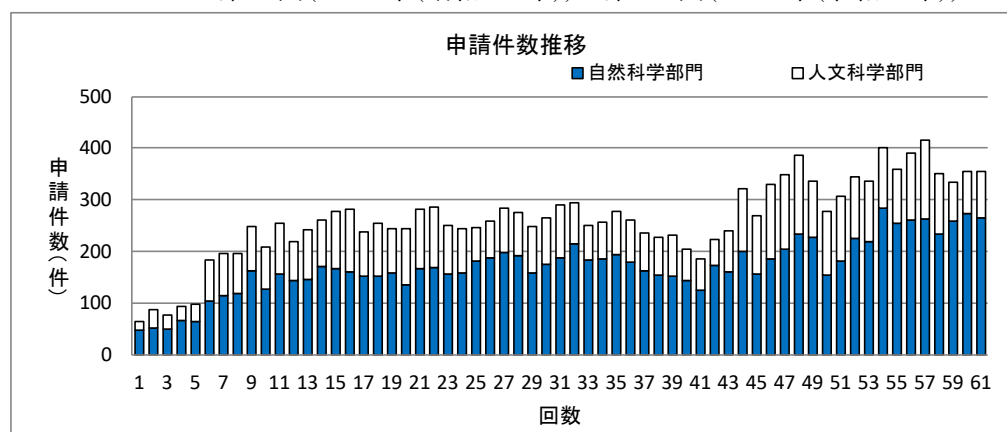
No	対象分野	研究課題	代表研究者	所属機関	役職	年齢	共同 研究 者数	贈呈額 (総額)
1	史学	モンゴル・アルタイ地方における匈奴の初期製鉄遺跡に関する実証的研究	村上恭通	愛媛大学 アジア古代産業考 古学研究センター	センター 長・教授	60	4	500
人文科学部門 応募件数 5件				贈呈件数 1件	贈呈金額 500万円			

人文科学部門 贈呈金額合計 2,600万円

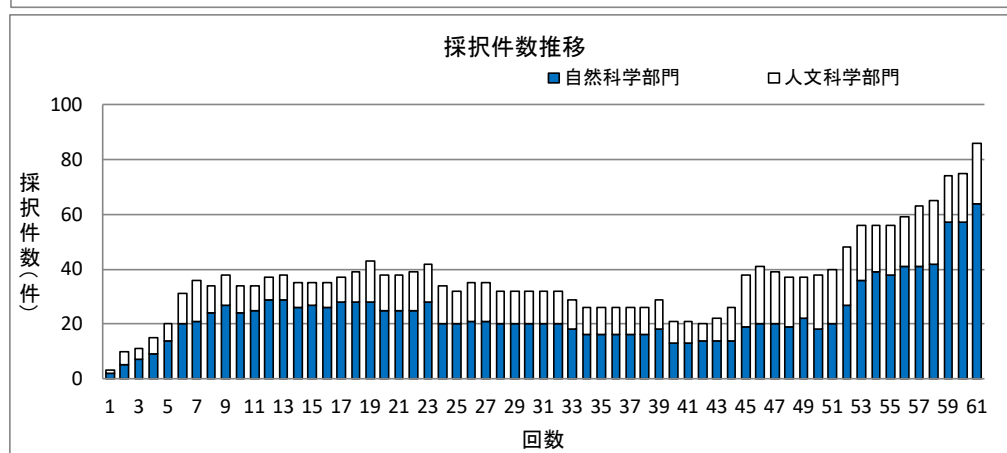
(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)

(付図1)

学術研究奨励金 助成推移 (共同研究含む第53回～、奨学金を除く)
第1回(1963年(昭和38年))～第61回(2023年(令和5年))

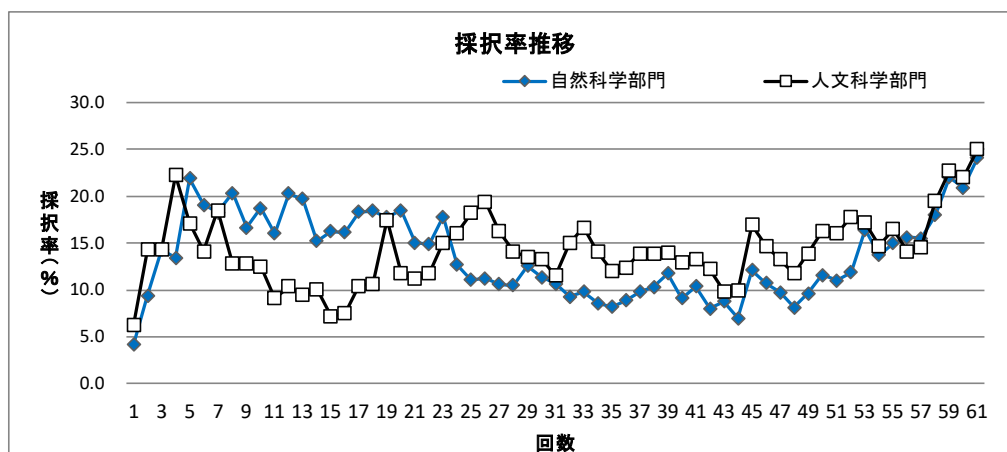


(2023年度)
自然科学 266件
人文科学 88件
計 354件



(2023年度)
自然科学 64件
人文科学 22件
計 86件

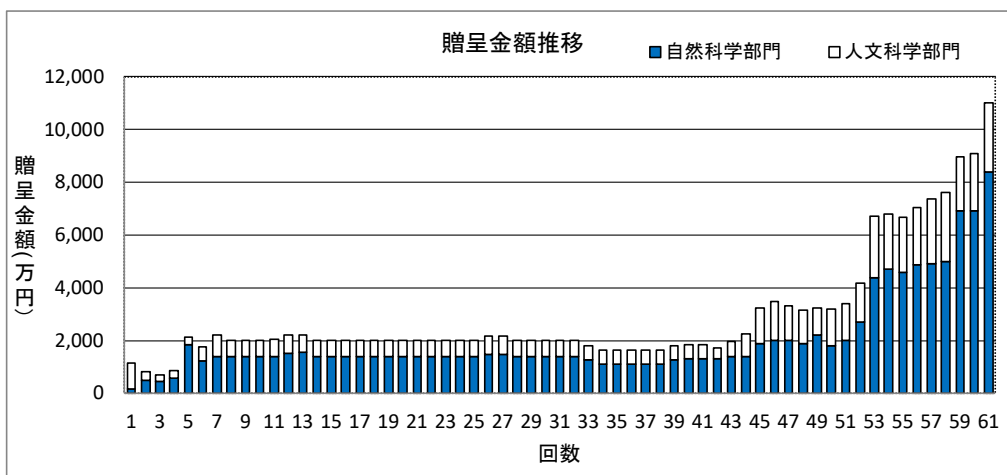
(累計)
自然科学 1,448件
人文科学 776件
計 2,224件



(2023年度)
自然科学 24.1%
人文科学 25.0%

(平均採択率)
24.3%

53回より
自然・人文の1件
当たり助成を
同額にした
(総額比率は変えず)



(2023年度)
自然科学 8,400万円
人文科学 2,600万円
(合計) 11,000万円

(累計)
180,260万円

(付表2)

第12回(2023年度)三島海雲学術賞受賞者

【自然科学部門】

受賞者	受賞テーマ	所属機関	役職	年齢	推薦者
原田 直樹	アンドロゲンを基軸とした栄養代謝制御に関する研究	大阪公立大学大学院 農学研究科	准教授	42	日本農芸化学会 会長 松山 旭
三島 英換	ビタミンKの新たな生理機能としてのフェロトーシス抑制作用の同定	東北大学大学院 医学系研究科 ヘルムホルツセンター ミュンヘン	非常勤 講師 上級研究員	40	東北大学大学院 医学系研究科長 八重樫 伸生

【人文科学部門】

受賞者	受賞テーマ	所属	役職	年齢	推薦者
小田 なら	〈伝統医学〉が創られるとき：ベトナム医療政策史 (2022年3月刊行 京都大学学術出版会)	東京外国語大学 世界言語社会教育センター	講師	36	京都大学学術出版会 専務理事・編集長 鈴木 哲也

(付表3)

2023年度 学術活動支援 贈呈一覧(本年度支給分)

	2023年度Ⅰ期	2023年度Ⅰ期	2023年度Ⅰ期
活動の名称	シガテラと海洋生物毒に関する沖縄国際会議2023	国際シンポジウム「匈奴とモンゴル帝国の都市と建築文化」	第14回国際インド学大学院生研究シンポジウム
部門	自然科学	人文科学	人文科学
開催責任者	国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 第二室長 大城直雅	昭和女子大学国際学部 国際学科 教授 ボルジギン・フスレ	東京大学人文社会系研究科 助教 高橋健二
開催時期	2023年11月13日～14日	2023年12月2日	2024年3月16日～17日
開催場所・形式	沖縄コンベンションセンター	昭和女子大学	東京大学人文社会系研究科
参加予定者数	110名(内、海外から15名)	80名(内、海外から5名)	25名(内、海外から20名)
助成金額	40万円	50万円	50万円

2. 業務及び職務の執行状況

2023 年度の業務執行に関する事項は以下の通りです。

1) 評議員・役員・委員に関する事項

付表 4、5（15～16 ページ）をご参照ください。

2) 理事会・評議員会等に関する事項

(1) 理事会（開催回数：6 回開催）

回	開催日	決議事項	報告事項
第 71 回 理事会（通常）			
	2 月 20 日 セルリアンタワー 東急ホテル	第 1 号議案 第 27 回評議員会（定時）招集の件 第 2 号議案 2022 年度事業報告及び附属明細書承認の件 第 3 号議案 2022 年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 第 4 号議案 任満了に伴う評議員候補者推薦の件 第 5 号議案 任満了に伴う理事候補者推薦の件 第 6 号議案 任満了に伴う監事候補者推薦の件 第 7 号議案 任満了に伴う顧問・名誉顧問選任の件 第 8 号議案 任満了に伴う資産管理委員及びアドバイザー委嘱の件 第 9 号議案 役員損害賠償責任保険更新の件 第 10 号議案 2022 年度事業報告書等の提出書類承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 2022 年度業務及び職務の執行状況報告 2. 2022 年度資産管理運用状況について 3. 基本財産の株式等の議決権行使について
第 72 回 理事会（臨時）			
	3 月 22 日 如水会館	第 1 号議案 理事長（代表理事）選定の件 第 2 号議案 理事の役職選定の件 第 3 号議案 業務執行理事選定の件 第 4 号議案 理事長及び常勤理事の報酬額承認の件 <いずれも異議なく承認された>	
第 73 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	4 月 18 日	第 1 号議案 第 12 回（2023 年度）三島海雲学術賞受賞者承認の件 第 2 号議案 三島海雲学術賞等 3 事業の応募要項改定の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第 74 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	6 月 6 日	第 1 号議案 「第 61 回（2023 年度）学術研究奨励金」贈呈者等承認の件 第 2 号議案 「2023 年度第 I 期学術活動支援」贈呈者等承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第 75 回 理事会（臨時）（決議の省略による方法）			
	9 月 13 日	第 1 号議案 学術委員委嘱の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第 76 回 理事会（通常）			
	11 月 29 日 セルリアンタワー 東急ホテル	第 1 号議案 第 28 回評議員会（臨時）招集の件 第 2 号議案 2024 年度事業計画承認の件 第 3 号議案 2024 年度収支（損益）予算承認の件 第 4 号議案 有価証券等の運用基準改定の件 第 5 号議案 2024 年度資産運用基本方針及び計画承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 2023 年度業務執行状況（中間）報告 2. 2023 年度資産管理運用状況について 3. 学術委員委嘱について

(2) 監 査 (於 財団会議室)

期末監査	1 月 31 日	1. 2022 年度事業報告及び附属明細書に関する事項 2. 2022 年度財産及び損益の状況及び附属明細書に関する事項
中間監査	9 月 27 日	1. 2023 年度事業並びに業務に関する事項 2. 2024 年度事業計画案について 3. 2024 年度収支（損益）予算案について 4. 2024 年度資産運用方針案及び資産運用計画案について

(3) 評議員会（開催回数：2 回開催）

回	開催日	決議事項	報告事項
第 27 回 評議員会（定時）			
	3 月 22 日 如水会館	第 1 号議案 2022 年度事業報告及び附属明細書承認の件 第 2 号議案 2022 年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 第 3 号議案 任期満了に伴う評議員選任の件 第 4 号議案 任期満了に伴う理事選任の件 第 5 号議案 任期満了に伴う監事選任の件 ＜いずれも異議なく承認された＞	1. 任期満了に伴う顧問・名誉顧問選任について 2. 任期満了に伴う資産管理委員及びアドバイザー委嘱について 3. 役員損害賠償責任保険更新について 4. 2022 年度事業報告書等の提出書類について 5. 2022 年度業務及び職務の執行状況報告 6. 2022 年度資産管理運用状況について 7. 基本財産の株式等の議決権行使について
第 28 回評議員会（臨時）			
	11 月 29 日 セルリアンタワー 東急ホテル		1. 2024 年度事業計画について 2. 2024 年度収支（損益）予算について 3. 有価証券等の運用基準改定について 4. 2024 年度資産運用基本方針及び資産運用計画について 5. 2023 年度業務執行状況（中間） 6. 2023 年度資産管理運用状況 7. 学術委員委嘱について

3) 学術委員会・選考委員会に関する事項

(1) 選考委員会（開催回数：自然科学部門 3 回、人文科学部門 3 回開催）

2023 年度	3 月 27 日	「第 12 回三島海雲学術賞二次選考委員会」（人文科学部門）	(1 名選出)
	3 月 29 日	「第 12 回三島海雲学術賞二次選考委員会」（自然科学部門）	(2 名選出)
	5 月 29 日	「第 61 回学術研究奨励金」（人文科学部門）（個人研究 21 件、共同研究 1 件選出） 「2023 年度第 I 期学術活動支援（人文科学部門）（意見聴取）」	
	5 月 31 日	「第 61 回学術研究奨励金」（自然科学部門）（個人研究 59 件、共同研究 5 件選出） 「2023 年度第 I 期学術活動支援（自然科学部門）（意見聴取）」	
2024 年度	12 月 5 日	「第 13 回三島海雲学術賞一次選考委員会」（人文科学部門）	
	12 月 14 日	「第 13 回三島海雲学術賞一次選考委員会」（自然科学部門）	

(2) 学術委員会（開催回数：自然科学部門 1 回、人文科学部門 1 回開催）

自然科学部門	10 月 19 日	1. 学術委員の委嘱について 2. 2023 年度研究助成事業報告(実績報告) 3. 学術研究奨励金の応募要項改定の件 4. 学術研究奨励金の選考指針改定の件 5. 2024 年度事業計画・予算(案)について
人文科学部門	10 月 31 日	1. 学術委員長選任の件 2. 2023 年度研究助成事業報告(実績報告) 3. 学術研究奨励金の応募要項改定等の件 4. 学術研究奨励金の選考指針改定の件 5. 2024 年度事業計画・予算(案)について、他

(3) 贈呈式

2023 年度の学術研究奨励金及び三島海雲学術賞の贈呈式、並びに三島海雲学術賞の授賞講演会を 7 月 7 日に東京會館にて執り行った。なお、受賞講演は Web 配信しました。

4) 資産管理委員会に関する事項

(1) 資産管理委員会（開催回数：4 回開催）

第 42 回	2 月 9 日	1. 2022 年度事業報告(案)及び決算(案)について 2. 2022 年度資産管理運用結果について 3. 2023 年度資産購入・売却状況について
第 43 回	6 月 21 日	1. 2023 年度資産管理運用状況報告 2. 2023 年度資産購入・売却状況について
第 44 回	10 月 5 日	1. 2023 年度資産管理運用状況報告 2. 2024 年度資産運用基本方針(案)及び資産運用計画(案)について 3. 2024 年度収支予算(案)について
第 45 回	12 月 18 日	1. 2024 年度収支予算、有価証券等の運用基準改定、2024 年度資産運用基本方針及び資産運用計画について 2. 2023 年度資産管理運用状況報告

(2) 資産管理運用の状況について

<2023 年度資産管理運用状況の詳細は、別途報告します。>

5) 登記などに関する事項

2023 年 3 月 27 日 役員及び評議員選任(改選)に伴う登記

6) 内閣府認定等委員会届出等に関する事項

月 日	届け・提出等
3 月 28 日	2022 年度事業報告等の提出
4 月 4 日	役員変更の届出
12 月 11 日	2024 年度事業計画・収支予算の提出

7) 契約に関する事項

重要な契約はなし

8) その他の重要事項

(1) 共同研究報告会(学術委員会と同日開催)

自然科学部門 10月19日 共同研究奨励金受贈 2022年度2件

(2) 年次報告書の発行

11月1日	2023年度「年次報告書」発行	発行部数	410部
-------	-----------------	------	------

注) 年次報告書には研究概要を掲載し、研究報告書は電子媒体にて保管。

(3) 普及広報

三島海雲学術賞の受賞・応募および受賞記念オンライン講演の告知広告を7月26～28日に朝日・読売新聞(東阪)と主要地方紙5紙に掲載しました。

以 上

(付表 4)

評議員・役員・顧問 名簿

(2023 年 12 月 31 日現在) 敬称略

職 名	常勤・非常勤	氏 名	現 職
評議員(9名)			
評議員会 会長	非常勤	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所長 大阪大学名誉教授
評議員	非常勤	岸本 美緒	お茶の水女子大学名誉教授
評議員	非常勤	西川 孝純	共同新聞社客員論説委員 元共同通信社論説委員長
評議員	非常勤	清水 孝雄	国立国際医療研究センター プロジェクト長 微生物科学研究所長／東京大学名誉教授
評議員	非常勤	塚本 隆史	株式会社みずほフィナンシャルグループ特別顧問 ・元取締役社長・会長
評議員	非常勤	坪井 善明	早稲田大学名誉教授
評議員	非常勤	寺田 篤	元株式会社電通ラジオテレビ&エンタテインメント 局長
評議員	非常勤	濱田 正美	神戸大学名誉教授 京都大学名誉教授
評議員	非常勤	西村 秀豊	元カルピス株式会社取締役執行役員

理 事(9名)

理事長	非常勤	羽田 正	東京大学特任教授・東京カレッジ長 東京大学名誉教授
副理事長	非常勤	清水 誠	東京大学名誉教授 東京農業大学客員教授
理事	非常勤	三尾 裕子	慶応大学文学部教授・東アジア研究所長 東京外国語大学名誉教授
理事	非常勤	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
理事	非常勤	山本 直之	東京工業大学生命理工学院教授
理事	非常勤	和田 一郎	牛嶋・和田・藤津・吉永法律事務所 弁護士
理事	非常勤	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
常務理事	常勤	唐木田陽一	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
常務理事	常勤	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事

監 事(2名)

監事	非常勤	打越 誠	元中央日本土地建物株式会社顧問
監事	非常勤	齋藤 正三	齋藤会計事務所 公認会計士・税理士

顧 問(1名)

顧 問	非常勤	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
-----	-----	-------	----------------

名誉顧問(5名)

名誉顧問	非常勤	小林 公生	元カルピス株式会社取締役社長・会長
名誉顧問	非常勤	今関 博	元カルピス株式会社取締役副社長
名誉顧問	非常勤	石毛 直道	国立民族学博物館名誉教授・元館長
名誉顧問	非常勤	上野川修一	東京大学名誉教授
名誉顧問	非常勤	間野 英二	龍谷大学客員教授 京都大学名誉教授 日本学士院会員

(付表5)

学術委員 名簿

(2023年12月31日現在) 敬称略

職 名	氏 名	現 職
自然科学部門 (9名)		
学術委員長	清水 誠	東京大学名誉教授 東京農業大学客員教授
学術委員	阿部 啓子	東京大学名誉教授 東京農業大学客員教授
学術委員	石見 佳子	東京農業大学総合研究所教授
学術委員	曾根 博仁	新潟大学医学部・大学院医歯学総合研究科教授
学術委員	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所長 大阪大学名誉教授
学術委員	難波 成任	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	西山 千春	東京理科大学先進工学部教授
学術委員	伏木 亨	甲子園大学学長 京都大学名誉教授
学術委員	山本 直之	東京工業大学生命理工学院教授

人文科学部門 (6名)

学術委員長	山室 信一	京都大学名誉教授
学術委員	赤松 明彦	京都大学名誉教授
学術委員	宇山 智彦	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授
学術委員	岸本 美緒	お茶の水女子大学名誉教授
学術委員	小長谷有紀	国立民族学博物館名誉教授
学術委員	佐藤 仁	東京大学東洋文化研究所副所長・教授

資産管理委員 名簿

(2023年12月31日現在) 敬称略

職 名	氏 名	現 職
資産管理委員長 (理事)	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
資産管理委員	出塚 清治	税理士法人出塚会計事務所 公認会計士・税理士
資産管理委員	山田 和久	元カルピス株式会社健康・機能性食品事業部部長
資産管理委員 (理事)	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
資産管理委員	佐藤 幹彦	元カルピス株式会社理事財務部長
資産管理委員 (理事)	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
アドバイザー	柏原 延行	丸三証券株式会社常務執行役員 投資信託部長 チーフ・グローバルストラテジスト

附 属 明 細 書

1. 2023 年度事業報告の明細

- 1 2023 年度事業報告並びに 2 業務及び職務の執行状況において記載している。